

平成 26 年 12 月 箱根町教育委員会会議 会議録

期 日： 平成 26 年 12 月 18 日（水）

場 所： 箱根町立郷土資料館 教育委員室

出席者： 唐澤久雄委員長、勝俣正志委員、石井清美委員、石田玲子委員、
小林恭一教育長
勝俣敏教育次長兼学校教育課長、大和田公一生涯学習課長、安藤正
博生涯学習課副課長、石川憲一学校教育課副課長、藤田貴嗣学校教
育係長、佐藤昌宏指導主事、石井ちかり教育支援室専任教諭。

欠席者： なし

傍聴人： なし

議 事：

1 開 会

委員長より、開会の宣言【午後 2 時 00 分開会】

2 議 第

(1) 議案第 23 号 箱根町大学等入学資金貸与者の決定について

委 員 長 それでは、議事に入ります。日程第 1、議案第 23 号をお願いします。

学校教育課副課長 [議案第 23 号を朗読。]

学校教育係長 [大学等入学資金貸与生徒調書に基づき、貸与志望者の進学希望先
及び法定代理人を含む家族構成、並びに連帯保証人等について説明。]
奨学生及び入学資金貸与者審査基準と照らし合わせた結果、いずれの
基準もクリアーしておりますことから、入学資金貸与者に決定しよ
うとするものであります。よろしく、ご審議ください。

委 員 長 今の説明を聞いて何も問題ないかと思いますが、委員の皆さん、何
かございますか。

委 員 員 お母様もしっかりした方なので、将来問題なく返還もしていただ
けるかと思いますが、よろしいのではないのでしょうか。

委 員 長 それでは、特に問題ないということですので、承認ということによ
ろしいですね。

全 委 員 はい、結構です。

(2) (報告事項) 高等学校等通学費補助制度等に係る保護者説明会の結果に

ついて

委員 長 続いて、報告事項（１）について、お願いします。

学校教育係長 説明会は、夜の７時から８時１０分まで箱根中学校の屋内運動場で実施いたしました。出席者は４５名でした。居住地域別では、仙石原は２６名で一番多く、次が宮城野で１０名でした。お子様の年代別としては、重複もありますが、中学生の保護者が３２名、高校生の保護者が２４名でした。

主な質問等としては、「所得制限を今後導入する考えはありますか？」、「来年度の教育費はどのくらい削減される見込みなんですか？」、「こういう見直しをすることで、箱根町がますます子どもを育てにくい町になってしまうことが心配だ。」、「保護者負担額が来年度から上がるということは既に決定しているのか？」、「町としては保護者にどの程度の負担額を望んでいるのか？」、「来年３月の議会審議前に保護者へ説明してもらいたい。」、「町の財政状況を考えれば、ある程度の負担増はやむを得ないと思うが、導入時期については変更してほしい。」、「定年退職するなど、親が働いていない家庭もある中で、保護者負担額を見直しするのはいかがなものか。」、「小学生の親も対象にして、３つの地区で開催するという約束であったが、本日１回の開催となったことは残念だ。」、「高校保護者会の臨時総会を開いた際に、保護者負担の値上げは仕方ないという意見や、絶対に困るといった意見があったが、そうした意見は町長等に伝わっていて、その結果が、今回の資料に反映されているのか？」、「予算がないことも十分にわかったが、教育委員会の中だけで考えて本当に大丈夫なのか、町全体で考えてもらいたい。」というような、質問や意見がありました。以上でございます。

委員 長 町の財政状況等については、だいたいの理解を得られたということでしょうかね。

学校教育係長 理解はしていただけたのかと思います。ただし、理解はするが、自身の負担増に関しては納得していただけてないのかもしれない。

教育 次 長 いくら負担が引き上げられるのかというのが、一番の関心事なんだろうと思います。最初に３か月で２万５千円という金額が先走ってしまったので、子どもが２人いるのに、それでは困るといったようなことなんだろうと思います。

教育 長 町議会の全員協議会で質問があった際に、高校通学費補助制度と奨学金制度の両方を持続させるには、２万５千円程度の保護者負担額が必要となりますというシュミレーションの結果をお答えしました。町議会１２月定例会で高校通学費補助の件で一般質問もありました。後程、次長のほうから説明があると思うのでお聴きください。

委員 長 はい、分かりました。どうも、ご苦労様でした。

(3) （報告事項）町議会 12 月定例会の結果について

委員 長 次の報告事項（2）について、お願いします。

教育 次 長 12月定例議会では、お一人の議員さんから高等学校通学費補助制度について一般質問がありました。〔答弁概要等について説明。〕最終的には、値上げをせざるを得ない状況であるというふうに答弁させていただきました。

委員 長 はい、分かりました。

(4) （報告事項）小・中学校の児童・生徒の様子について

委員 長 次の報告事項（3）について、お願いします。

教育支援室専任教諭 先月お話しさせていただいた件のその後について、お話しさせていただきます。〔学校現場での先生方によるチーム対応等の状況について説明。〕小学校の児童指導に、中学校の生徒指導の手法も取り入れていったらどうかということについて、それぞれに話を持ちかけたところ、教頭先生方による学校運営会議で、箱根町全体で児童・生徒指導の統一した方向性をもったマニュアルをつくっていこうというような話に進んでいます。

委員 長 先月、子ども達の様子についてお話しを伺った後、学校を訪問してきました。校長先生と、保護者の皆さんにもどんどん学校に入ってもらい、子ども達の様子を見えもらうようにしたらいいじゃないかというような話をしてきました。

委員 員 学校における子ども達の様子を保護者のほうにちゃんと話をしているのでしょうか。

教育支援室専任教諭 はい、つないでいると学校からは伺っています。すごく頑張っていてやってくれています。支援室もいっしょに対応していこうと思っています。

委員 長 はい、よろしくお願いします。

(5) （報告事項）平成 27 年度小学校修学旅行について

委員 長 その他の報告事項はありますか。

教育 長 昨日、箱根町小学校長会の平成 27 年度修学旅行検討会が開催され、その検討結果の報告を受けました。保護者も含めて検討した結果、来年は日光のほうに行くことと決まったそうです。そうなった理由として、一番は費用の問題、貸切バスが値上がりをしてしまいバスを単独で仕立ててやろうとした場合には今年と同じような金額ではとても実施できない、鉄道を利用した旅行団に加わることで費用も抑えられるということなんです。そういうことなら、どうしようもないだろうと思っていますし、再来年に向けても早めに保護者を交えて確実に修学旅行に行けるように検討していってもらわないといけないだろうと思っています。あと、校長のほうからは、行った先で箱根町独自の体験とか、何ができるのかを今後検討していきたいという報告を受けまし

た。

委員長 校長先生らが検討した結果ということなので構わないんですが、これまでは静岡方面のほうが、体験学習が多くできるとか、地震だとかの面でも安心だということ。それから町内から出掛けるにしても移動の負担が少ないということなどから、静岡方面にしてきたと思いますが、その辺も十分に保護者の方々に理解してもらったうえでの変更ということなんでしょうか。

教育長 その辺については、保護者も承知している。ただ、静岡方面に行った場合、日光方面に行っている小田原などの子ども達の経費と比べて数千円も高くなってしまい、どうして箱根町だけそんなに高いのかを保護者に納得してもらえないだろうということで、保護者の代表の方ともよく相談したうえで、変更したということです。

私としては、貸切バスの値上げは修学旅行だけではなく、社会見学だとかにも影響することなので、この先どうしていくのか心配しています。なので、校長先生には年度当初に保護者へ、いつ・どこに出かけるのでいくら位かかりますという話を通しておかないと無理ですよという話をしておきました。

中学校の場合には、毎年、費用が違う。一年生の時に決めて、親も納得済みで行くからいいですけど、小学校の場合、そこまでのシステムができていないので、小学校についても5年生の段階で検討するのではなく、4年生の段階まで繰り上げて検討し始めるようなシステムにしていくように指示しました。去年、あそこに行ったから、今年もそこに行きますという前例踏襲ではなく、全て、いろいろな選択肢をオープンにして決めていくようにしなければいけないと思う。修学旅行は教育の一環の中でやることなんで、その学年をどう見取るか考えて決めていかなければいけない。

委員 今後は、修学旅行に対する教員の意識改革をしていく必要もあるんだろうと思います。先進的な事例では、4年生の段階から宿泊で野外体験を始めて、5年生、6年生の修学旅行へとつないでいるようです。

委員 そうですね、以前の修学旅行に戻ってしまうというように言われなような説明の仕方、経費のことだけではなく、目標をしっかり設定して、十分に計画してありますというふうにやっていてもらいたいですね。

委員長 はい、分かりました。

3 閉 会

委員長 それでは、本日の会議はこれで閉会とします。次回、1月の教育委員会定例会の日程については、1月28日（水）の午後2時00分から教育委員室ということで、よろしくお願ひします。

【午後5時24分閉会】